

# 丹波市男女共同参画センターだより

「女だから、男だから、ではなく、  
私だから、の時代へ」  
～男女共同参画社会を考える～

小藤 智代美

兵庫県立男女共同参画センター 所長

**問**もなく男女共同参画週間（6月23日から1週間）が始まります。今年度のキャッチフレーズは、「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」ですが、男女共同参画についてお聞きになられたことはおありでしょうか。SDGs<sup>※1</sup>の第5番目の目標に「ジェンダー<sup>※2</sup>平等を実現しよう」が掲げられていることから、世界人口の半分を占める女性が、ジェンダー差別なく社会に参加することができれば、途上国等が抱える貧困や教育等の課題が解決されたり、各国で大きな経済成長が見込めたりするといった話を聞いたことがある方も多いかと思えます。

**男**女共同参画をめぐるのは、今年2月、日本オリンピック委員会の臨時評議員会で、森喜朗会長（当時）が「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」と発言されたことに対して、オリンピック憲章のジェンダー平等の理念に反する女性蔑視の発言だとメディアが報じたことは記憶に新しいかと思えます。国内外から多くの批判意見が寄せられ、オリンピックのボランティア参加予定者等が辞退を申し出るなど、大きな反響がありました。

**皆**さんの身近な生活の場面にも、男女共同参画を考える機会になる事柄はたくさんあります。例えば、地域では、自治会の役員には男性が多く選ばれている、秋祭りで性別での役割が固定化している、といったことがみられませんか。家庭では、家事・育児・介護は女性が担うものとされていませんか。

実際の調査でも、①家事・育児はほぼ女性が担っている（6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児時

間は、女性7時間34分、男性1時間23分。欧米では男性の家事育児時間は3時間程度ある）、②家族の介護のために離職するのほぼ女性である（介護のための男性の離職率29%、女性71%）、③男性は外で働くことを優先している（男性の77%が正規雇用、女性は56%が非正規雇用）という結果が報告されています。非正規雇用の女性が離婚となると、非常に低い収入での生活を余儀なくされます。だれもが納得した役割分担ならいいのですが、特に女性は納得されていない方も多いのではないのでしょうか。

**国**は、昨年12月にすべての女性が輝く令和の社会をめざして、施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、第5次男女共同参画基本計画を策定しました。兵庫県も歩調を合わせ、第4次兵庫県男女共同参画計画を改定しました。

**日**本でなかなか男女共同参画が進まないのは、固定的な性別役割分担意識や、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）によることが大きいからという指摘があり、皆さん一人ひとりの気づきや意識の変革、身近な取組の積み重ねも必要です。

女性だけでなく、だれもが生きやすく、だれもが輝ける社会の実現を、皆さんとともにめざしたいと考えています。

※1 平成27年9月の国連サミットで採択された17のゴール等で構成される、国連加盟193か国が取り組むべき課題を含んだ2030年までの国際的な目標。

※2 生物学的な性別に対して、社会通念や慣習の中で、社会によって作り上げられた男性と女性の別のこと。



兵庫県立男女共同参画センター図書室